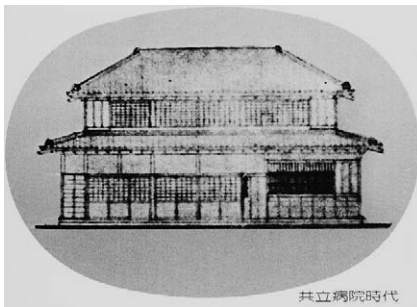


亥鼻以前 1874年(明治7年)-1890年(明治23年)



1 共立病院「千葉大学医学部
創立百周年記念絵葉書」より



2 (1)公立千葉病院 1876年
(明治9年)頃
(千葉市郷土博物館所蔵)



(2)第一高等学校医学部正門
1890年(明治23年)頃「千葉いまむかし
No.3 依田美狭古のアルバム」より転載



1882年(明治15年)4月測図「千葉県下総国千葉郡千葉市街図」(国土地理院所蔵)
左上のスケッチは千葉県庁正門



医学部の歴史は1874年(明治7年)共立病院創設に遡ります。場所は、現在の広小路交差点付近でした。

1876年(明治9年)には公立千葉病院に改称、現在の千葉地裁、キボール付近に移築され、医学教場が併設されました。1882年(明治15年)には県立千葉医学校と附属病院になり、1887年(明治20年)に医学校は官立の第一高等中学校医学部へ昇格し、病院は1888年(明治21年)に県立千葉病院となりました。

左頁の地図は1882年(明治15年)に作成されたものです。右頁の現在の地図を見ると、道路による街の区画があまり変わっていない様子がわかります。鉄道はまだ敷設されていません。都川は改修前で、流路が鋭角を示します。

1960年(昭和35年)、共立病院、公立千葉病院跡地付近に医学部創立85周年の記念標碑が建立されました。



1' 共立病院記念標碑
(院内公園内)



2' 公立千葉病院記念
標碑(キボール前)



現在の千葉市街図 枠内が左図に対応

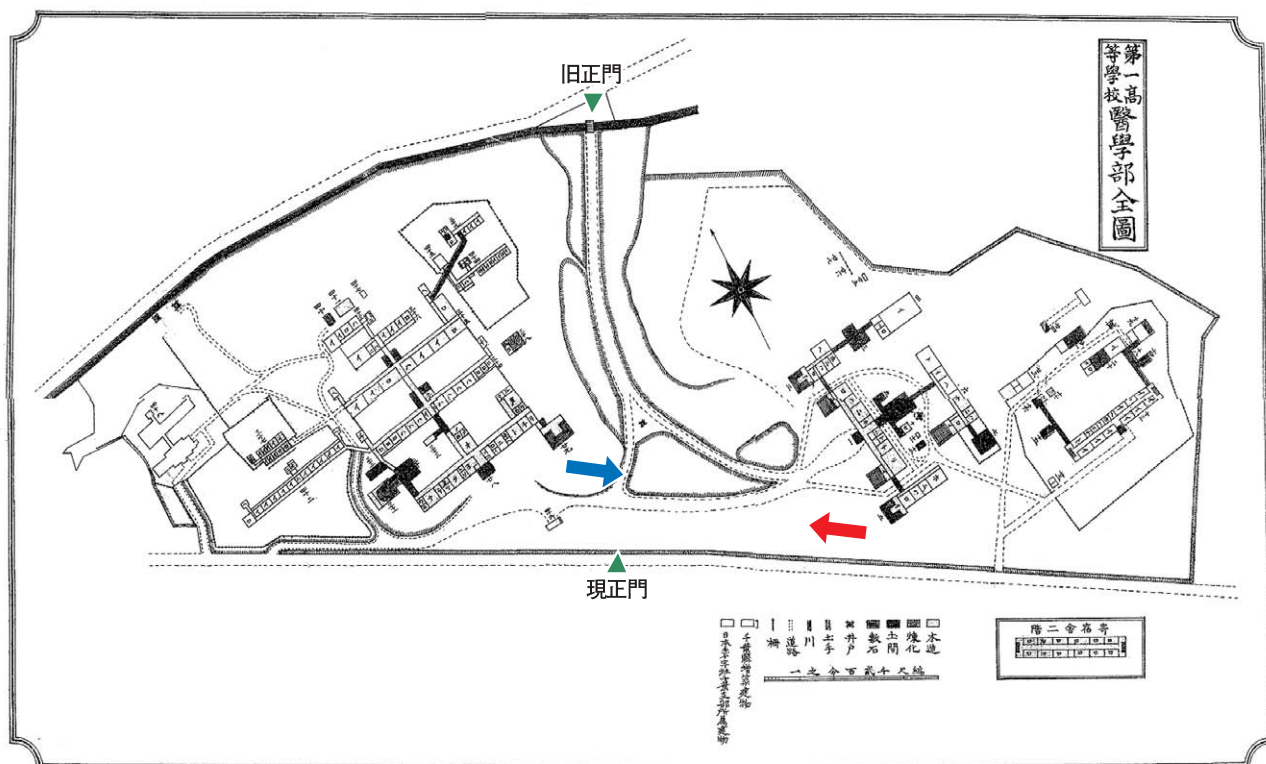
亥鼻へ移転 1890年(明治23年)

第一高等中学校医学部と県立千葉病院は、1890年(明治23年)亥鼻台へ移転しました。畑地だった亥鼻台に突如出現した立派な建築は、千葉町の名所として「千葉町繁栄の図」に描かれる等、一躍有名になりました。その後第一高等中学校医学部は1894年(明治27年)には第一高等学校医学部となりました。

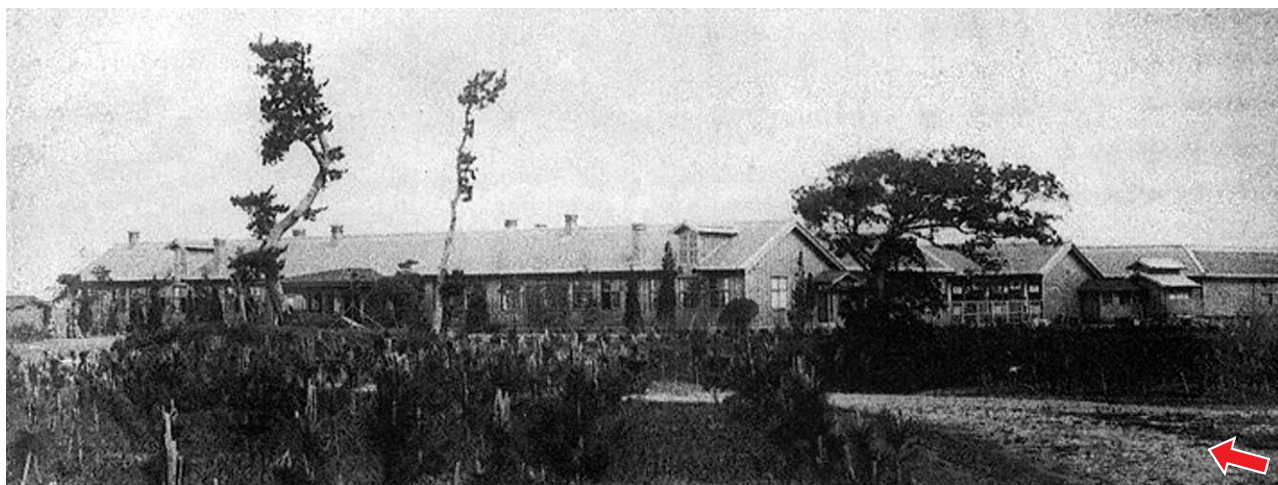
本頁中央の1900年(明治33年)「第一高等学校医学部全図」は、精緻な見取り図としては現存する最も古いものの一つです。現在の附属病院や連絡道路の敷地は取得前で、まだ造成されていません。

左右両頁下段にある2枚の写真は、1890年(明治23年)頃に撮影された完成直後の病院と医学部です。依田美狭古[1890年(明治23年)入校]により撮影されました。病院、医学部の建物付近には大きな樹木はまばらで、畑地の上に建てられた当時の様子が偲ばれます。

亥鼻の地では医学部移転に伴い学校、病院前の道路も整備されたようです。移転前の1881年(明治14年)作図された地形図(右頁上段の図)の旧東金街道(現在の正門前の道)は曲がりくねった里道で、現在(右頁中段の図)と比べると違いが明かです。

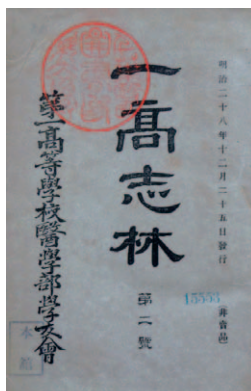
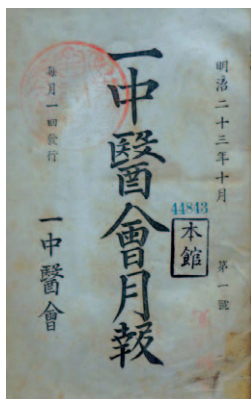


第一高等学校医学部全図 1900年(明治33年)12月 左側の建物群が県立千葉病院(現在の看護学部, 亥鼻地区総合教育研究棟付近), 右側の建物群が第一高等学校医学部(現在の医学部本館, 医薬系総合研究棟付近)。矢印は下の写真が撮られた方向を示す。「第一高等学校医学部一覧」(国立国会図書館所蔵)より



県立千葉病院 1890年(明治23年)頃 「千葉いまむかし No.3 依田美狭古のアルバム」より転載

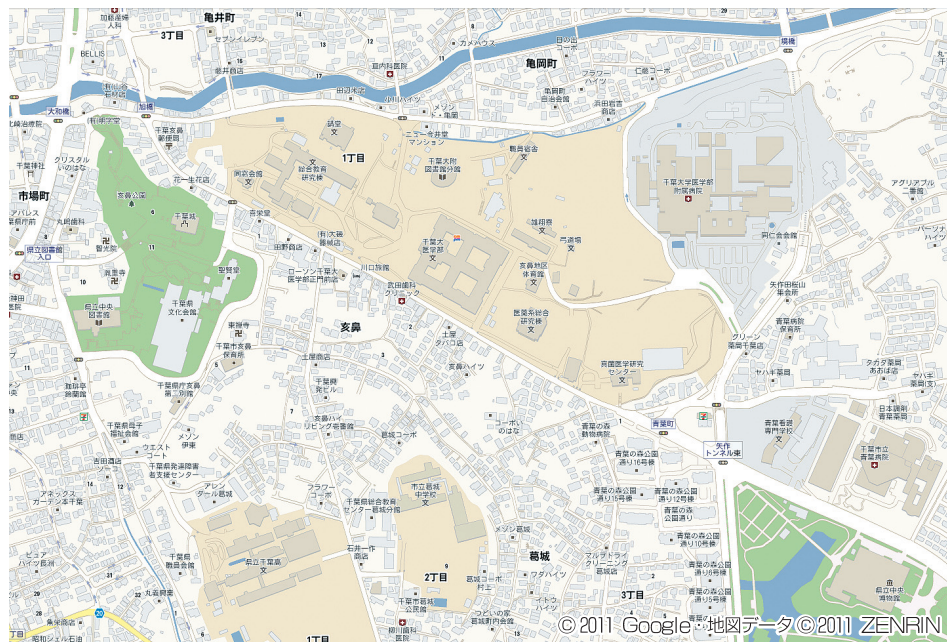
当時における医学部の様子は、1890年(明治23年)に創刊された「一中医会月報」と1895年(明治28年)創刊の「一高志林」(下の写真)、「第一高等中学校医学部一覽, 第一高等学校医学部一覽」(国立国会図書館所蔵)等の記述から推し測ることができます。



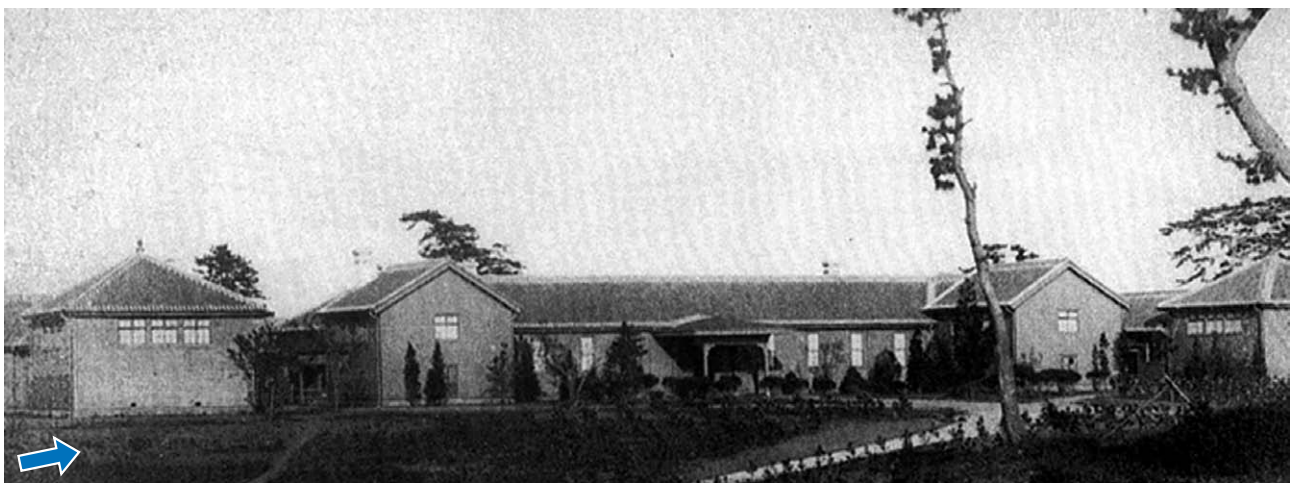
上: 1890年(明治23年)一中医会月報
下: 1895年(明治28年)一高志林
(千葉大学附属図書館玄鼻分館所蔵)



玄鼻周辺の地形図 1881年(明治14年)「迅速測図」(国土地理院所蔵)より



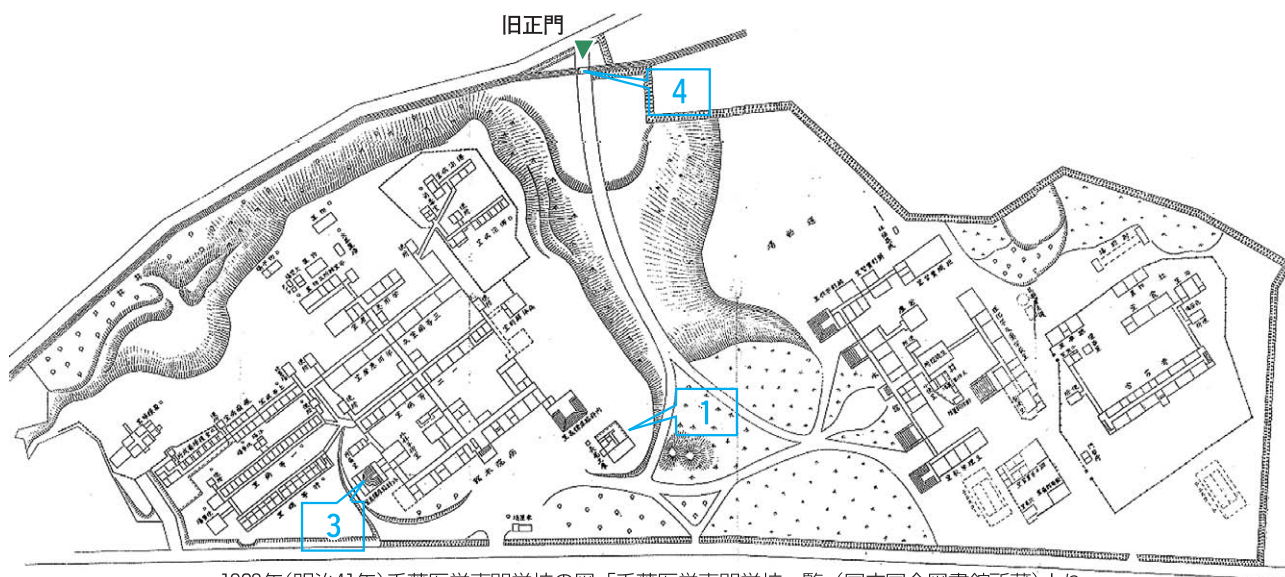
現在の千葉大学医学部周辺の地図



第一高等中学校医学部 1890年(明治23年)頃「千葉いまむかし No.3 依田美狭古のアルバム」より転載

千葉医学専門学校の頃 1901年(明治34年)-1923年(大正)

亥鼻に移転した第一高等学校医学部は、1901年(明治34年)に千葉医学専門学校と改称されました。一方、県立千葉病院の名称は、1922年(大正11年)に千葉医学専門学校附属医院となるまで続きます。



1908年(明治41年)千葉医学専門学校の図「千葉医学専門学校一覧」(国立国会図書館所蔵)より



1920年(大正9年)千葉医学専門学校の図 左側の建物群が県立千葉病院。右側の建物群が千葉医学専門学校。矢印は両頁下の写真が撮られた方向を示す。数字は右頁写真 [1] から [6] の位置を表す。「千葉医学専門学校一覧」(国立国会図書館所蔵)より



県立千葉病院全景 右端は荻生校長像。「1921年(大正10年)卒業アルバム」より



1 長尾文庫 「1909年(明治42年)卒業アルバム」より



2 荻生校長銅像除幕式 「1909年(明治42年)卒業アルバム」より



3 外科臨床講義室 「1909年(明治42年)卒業アルバム」より

1902年(明治35年)に長尾精一初代校長[公立千葉病院長時代1880年(明治13年)6月から1902年(明治35年)7月まで]の功績を称え、医学部図書館の前身である長尾文庫[1]が開設されました。長尾文庫は一般に開放され地域図書館としての役割も備えていましたが、1910年(明治43年)に廃止され、蔵書は医学部図書室に移されました。

1909年(明治42年)に荻生録造二代校長[1902年(明治35年)から1914年(大正3年)まで]の在職25年を記念して銅像[2]が、続いて1911年(明治44年)には長尾前校長の銅像が建立されました。両校長の銅像は、1943年(昭和18年)戦時下の金属回収令により供出されるまで、医学生を亥鼻の地で見守り続けました。後の三輪徳寛三代校長[1914年(大正3年)から千葉医科大学長時代1924年(大正13年)まで]は1900年(明治33年)に完成した外科臨床講義室[3]の壁に外科医の心得「獅胆鷹目行以女手」を掲げました。

千葉医学専門学校の正門[4]は現在の北東側の門付近にありました。当時、都川と平行してキャンパス寄りを通る丹後堰用水と呼ばれる灌漑用水があり、これを渡って学校へと上る坂が続いています。学校の建物は1914年(大正3年)に講堂[5]、1919年(大正8年)には薬学校舎[6]が新たに建築されますが、本館など初期の建物はそのままの姿で医学生教育の礎となりました。右頁下の写真は1921年(大正10年)頃の医学部全景です。

県立千葉病院は1914年(大正3年)に大規模な増改築工事が完了し、病院本館は2階建ての威容を誇る建物に変わりました(左頁下の写真)。左頁中央1920年(大正9年)の図面から、敷地一杯に建物が建ち並んだ様子が窺えます。その後、大学昇格の準備として1922年(大正11年)には千葉医学専門学校附属医院と改称されました。



4 学校正門 「1909年(明治42年)卒業アルバム」より



5 講堂 「1917年(大正6年)卒業アルバム」より



6 薬学校舎 「1919年(大正8年)卒業アルバム」より



千葉医学専門学校全景 左奥は建築中の解剖学教室。その前は長尾校長像。「1921年(大正10年)卒業アルバム」より

千葉医科大学の頃 1923年(大正12年)– 1949年(昭和24年)

千葉医科大学に昇格した1923年(大正12年)には、隣接する都町矢作(やはぎ)の地を造成し、医科大学の基礎教室の校舎が次々に建設されました。この年初めて、図面にも矢作の地が書き加えられました。亥鼻と矢作を結ぶ連絡道路もこの頃整備されました。その後、現在の運動場、駐車場の敷地と合わせ、今日の千葉大学亥鼻キャンパスの輪郭が完成しました。



1923年(大正12年)千葉医科大学の図 この年、右上の基礎教室校舎の造営が始まり、矢作台の土地が別葉で図面に収録された。矢印は右の航空写真が撮られた方向を示す。「千葉医科大学一覧」(国立国会図書館所蔵)より

右の写真は基礎教室校舎建設中の航空写真です。現在の附属病院の北西面が断崖絶壁であった様子が良く解ります。1927年(昭和2年)には医科大学本館(右頁中の写真)が完成しました。

両頁下にある3枚の写真は、1927年(昭和2年)頃の亥鼻の全景です。左の写真は千葉医科大学附属医院、中央の写真は旧基礎教室校舎[1](右頁上の図)、薬学校舎[2]、伝染病棟[3]、関東大震災後新たに建設された精神科病棟[4]、看護婦寄宿舍[5]の建物群、右の写真は新築造営された基礎教室校舎の全景です。



矢作台に建設中の基礎教室 手前は医化学教室、生理学教室、薬理学教室で、左側奥に見えるのは解剖学教室。「1924年(大正13年)卒業アルバム」より



1928年(昭和3年) 附属医院 「1928年(昭和3年)卒業アルバム」より

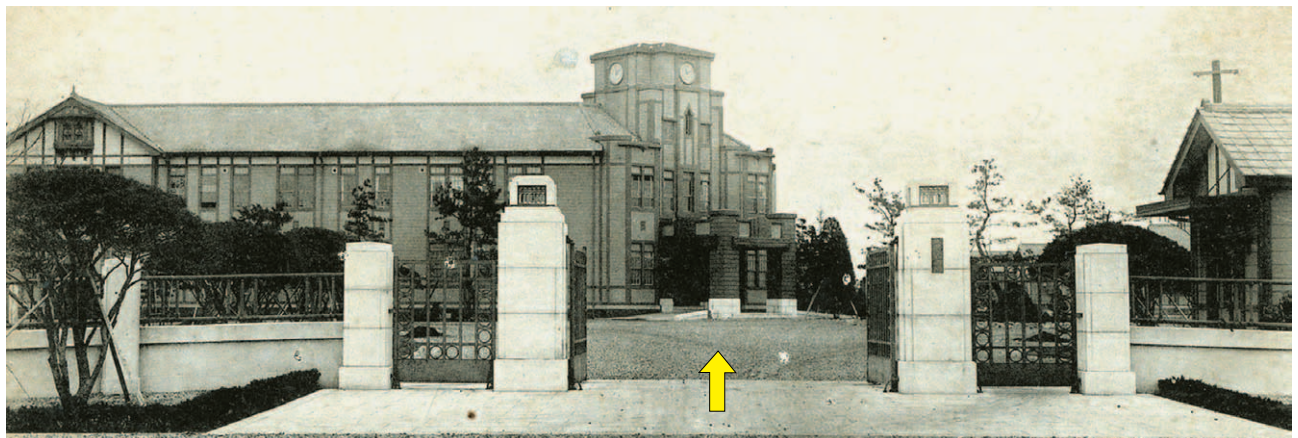


1928年(昭和3年)旧基礎教室付近

その1：矢作台へ



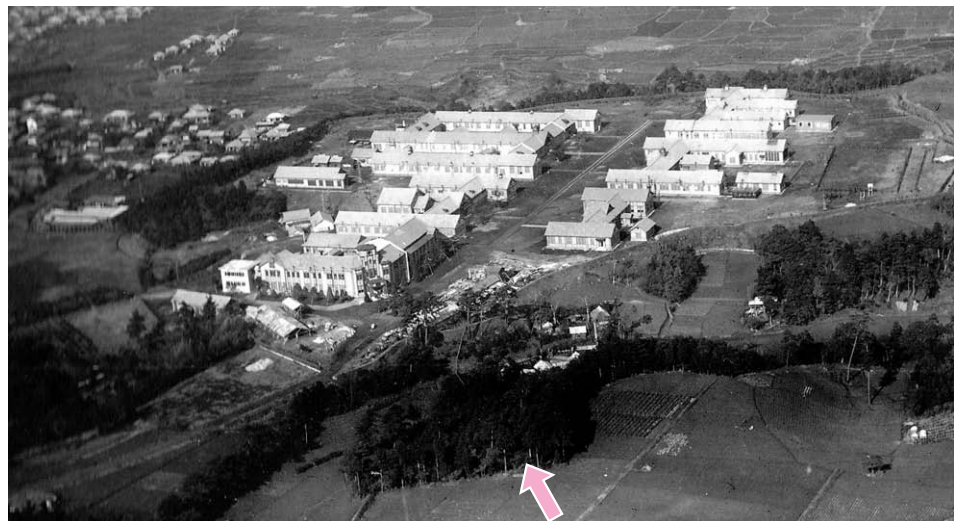
1926年(大正15年)千葉医科大学の図 矢印は下の写真が撮られた方向を示す。数字[1]～[5]は本文参照。「千葉医科大学一覧」(国立国会図書館所蔵)より



千葉医科大学本館 1927年(昭和2年)落成。「同仁会 絵葉書」(柏木崇人氏提供)より



「1928年(昭和3年)卒業アルバム」より

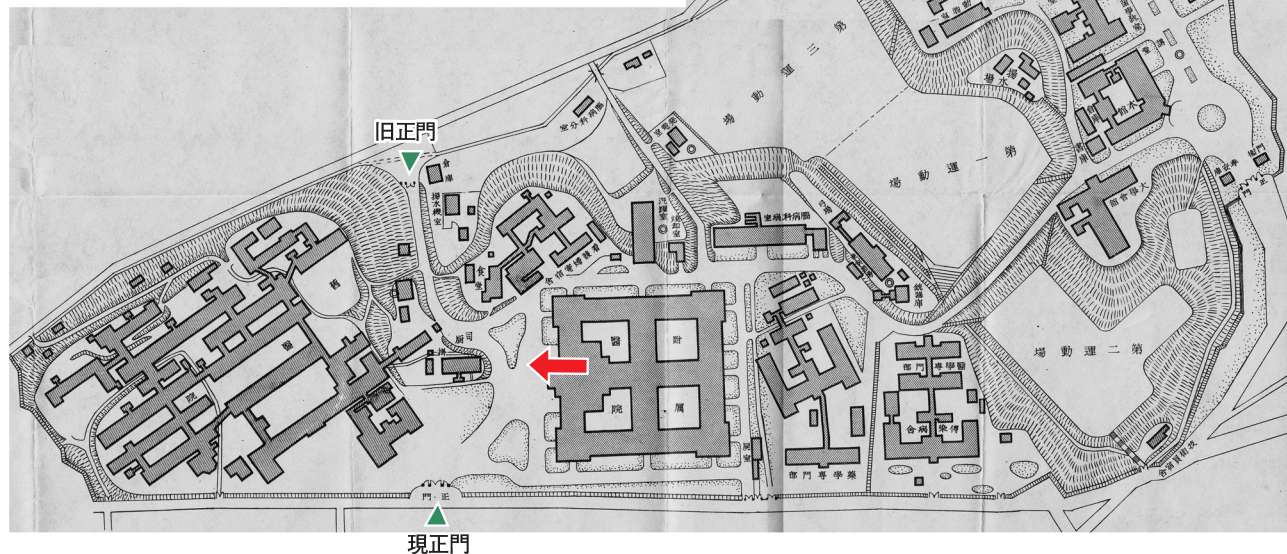


1928年(昭和3年) 千葉医科大学 「1928年(昭和3年)卒業アルバム」より

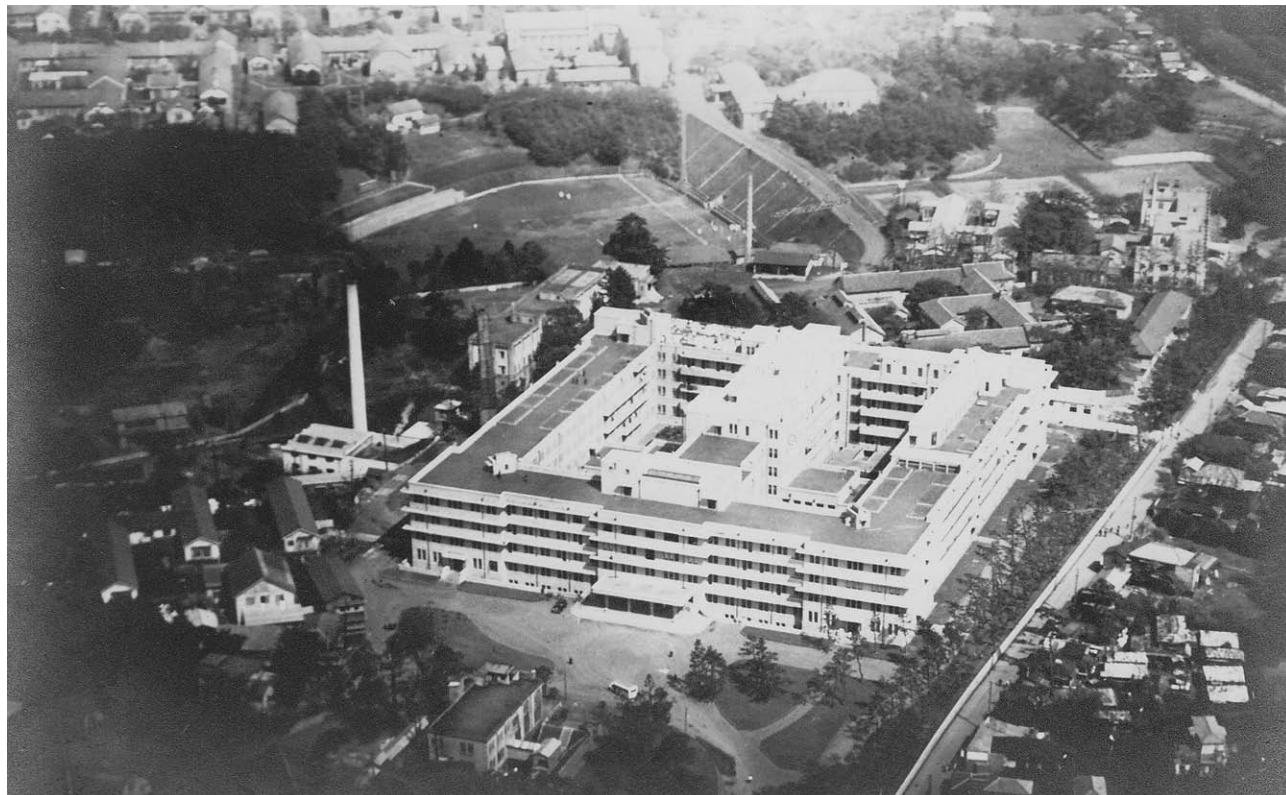
千葉医科大学の頃 1923年(大正12年) - 1949年(昭和24年)

千葉医科大学となった1923年(大正12年)は関東大震災の年でもありました。この震災で大きな被害を受けた病室もあり、この後に建設される新病院の設計にも大きな影響を与えました。そして、基礎校舎の建設が一段落した1931年(昭和6年)に、旧基礎校舎跡を新病院の用地として建設に着手しました。

千葉医科大学附属医院の新館は1937年(昭和12年)に完成しました。設備には、往時のドイツ医学の粋を集め、東洋一の病院と称せられました。この頑強な建物の建築には、着工から完成までに6年の歳月が費やされました。

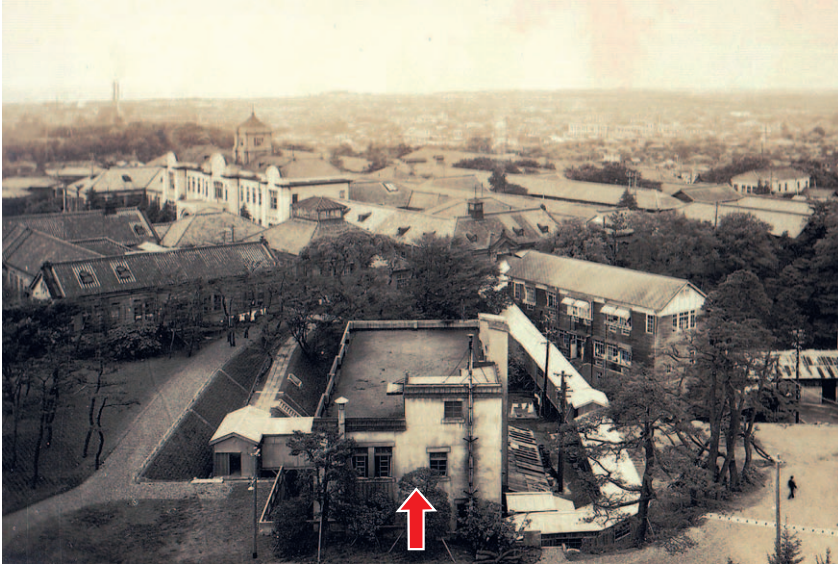


1942年(昭和17年)千葉医科大学構内建物配置図 矢印は右頁上左の写真が撮られた方向を示す。「千葉医科大学一覧」より



新築された千葉医科大学附属医院 1937年(昭和12年)頃 左上は千葉医科大学。これに向かう連絡道路の左右には運動場も整備されている。(千葉大学医学部附属病院所蔵)

その2：旧病院(現医学部本館)建築～戦後



新附属医院より旧医院を望む 1938年(昭和13年)「佐々内科教室アルバム」より



千葉医科大学本館の夜景「1941年(昭和16年)卒業アルバム」より

千葉医科大学附属医院は鉄筋コンクリート5階建て、間口102メートル、奥行きは109メートルのほぼ正方形で、田の字の形をしています。外壁はクリーム色化粧煉瓦で、堂々とした建築です。現在は医学部本館として使われています。

1941年(昭和16年)に始まった太平洋戦争以降、ますます激化する戦争は、市民生活にも大きな影響を及ぼします。千葉医科大学は1945年(昭和20年)の度重なる空襲により、木造建築であった矢作台の基礎教室、旧附属医院(上左の写真)のほとんどを焼失しました。しかし、新附属医院は戦争時にも被害を受けずに被災者救護にあたることができました。

焼失した矢作台の基礎教室は戦後すぐに仮建築が進められました。下の写真は終戦後3年の1948年(昭和23年)に撮影されましたが、矢作台の基礎教室跡に仮教室が見えます。

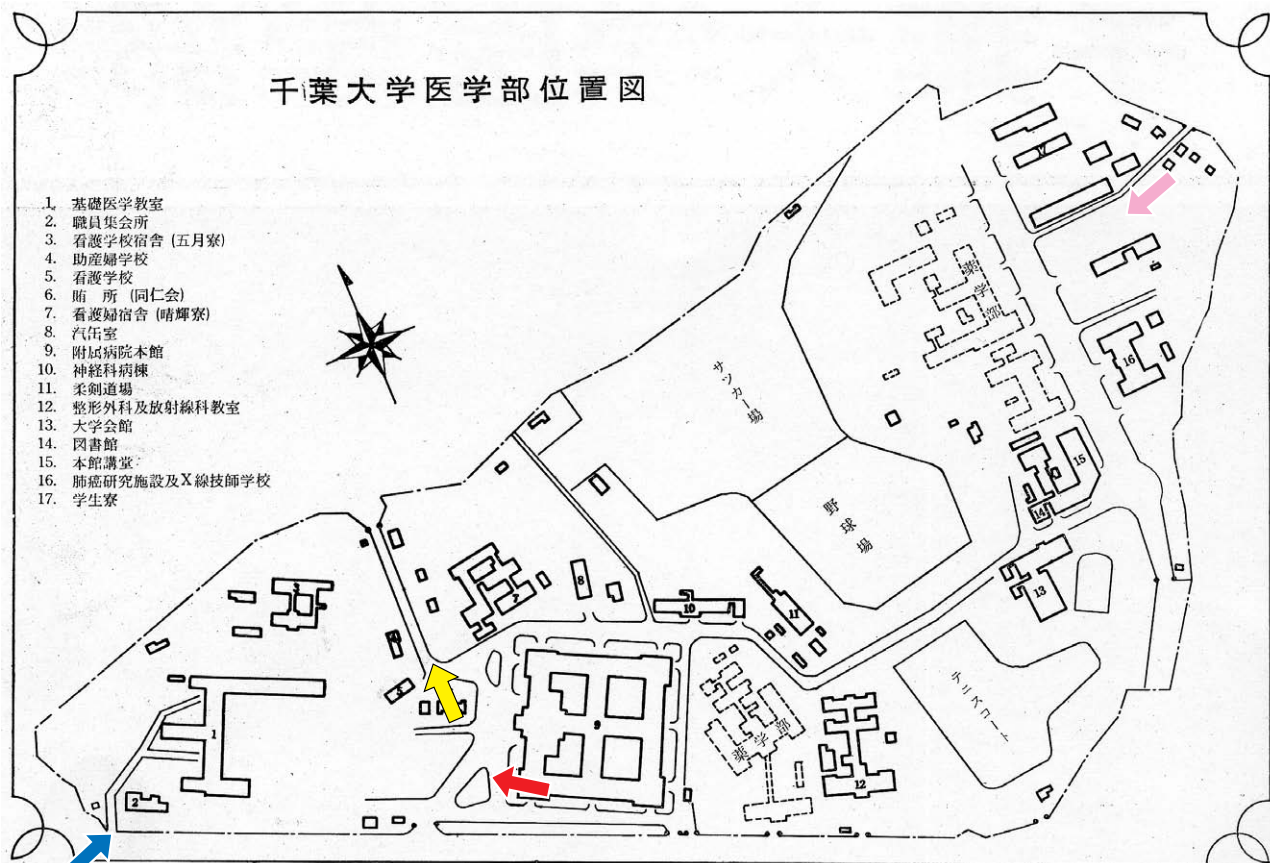
なお、本館(上右の写真)は焼失を免れ、1949年(昭和24年)千葉大学発足後には、しばらくの間大学本部が置かれました。



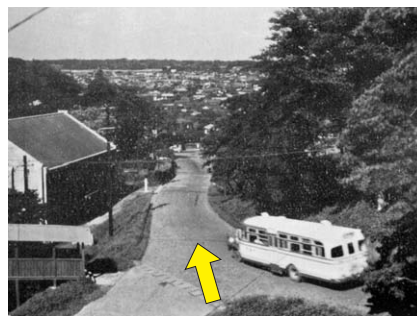
米軍撮影航空写真 1948年(昭和23年) 基礎教室の仮建築(右上)が一部建てられている。中央に残るのは新附属医院。旧附属医院跡(左下)は更地に近い。(国土地理院所蔵)

千葉大学医学部 1949年(昭和24年)-

1949年(昭和24年)国立学校設置法により千葉大学が設立されました。千葉医科大学は千葉大学亥鼻地区の医学部と附属病院になりました。その後、1959年(昭和34年)には旧千葉医科大学附属医院跡に建設された基礎医学教室新館が完成し全科が移転しました(下段中央の写真)。同年は医学部創立85周年にあたります。翌1960年(昭和35年)には記念式典等がおこなわれ、1964年(昭和39年)に記念講堂が竣工しました。



1960年(昭和35年)千葉大学医学部位置図 左下の建物が基礎医学教室新館。点線の建物は西千葉地区に移転前の薬学部。矢印は下の写真が撮られた方向を示す。「創立八十五周年記念写真集」より



1960年(昭和35年)頃のキャンパス 上段:連絡道路にまだ桜の木はなく、その先に附属病院、基礎新館が望まれる。下段:左から、西門と旧みのはな同窓会館(職員集会所)、基礎新館、旧正門。当時、医学部構内を路線バスが走っていた。「創立八十五周年記念写真集」より

医学部附属病院は、1978年(昭和52年)に旧千葉医科大学基礎教室跡に新病院を建設(下中央段左の写真)、移転し、次いで2008年(平成20年)には新病棟が建設されました(中央段右の写真)。旧附属病院の建物は1980年(昭和55年)に医学部本館となり、現在に至っています(下段右の写真)。

上段の航空写真は2008年10月現在の亥鼻地区です。連絡道路と両脇にある運動場、現医学部本館などは千葉医科大学当時の姿をとどめています。2004年(平成16年)には医薬系総合研究棟(下段左の写真)が建設され、2011年度内には第二棟が完成し、薬学部も西千葉地区から完全移転します。こうして千葉大学亥鼻地区には医・薬・看の医療系学部が集まり、歴史に培われながら、新たな時代に向かい歩み始めています。



2008年(平成20年)10月現在の医学部(中央)と附属病院(右上)全景



1978年(昭和52年)新築落成時の附属病院



2008年(平成20年)附属病院新病棟竣工



2004年(平成16年)医薬系総合研究棟第一期竣工



2010年(平成22年)4月現在の医学部本館